
飯森山 飯森沢左岸尾根～飯森山～鉢伏山

～飯森沢右岸尾根（下降）

林 正規

■山行年月日:2018年3月11日

■メンバー:林正規

■コースタイム:栃平駐車場(9:15)飯森沢横断(9:30)1518m標高点(12:20～12:30)飯森山(13:10～13:20)鉢伏山直下(14:00)1020m付近黙禱(14:46)駐車場(15:20)

2月下旬の再起戦(二岐山)に続く第2ラウンドは、以前から気になっていた飯森山で、少し前に昔の仲間から「飯森山よかったよ」と聞いたのがきっかけになり、チョイス。飯森沢右岸尾根は山スキーで人気があるようだが、せっかくなので飯森沢周遊ルートを計画した。地形図を見る限り日帰りでも何とか行けそう。

11日(日)【晴れのち雪】国道121号の栃平駐車場に駐車して、ツボ足で出発。まずは飯森沢の横断だ。流れが見えているが、雪が繋がっている部分も幾つかある。右岸の急雪壁を少しクライムダウンして横断するのが良さそうだが、大事を取ってアイゼンを付ける。デブリで出来たスノーブリッジを渡ってあっさり横断完了。右岸のなだらかな雪尾根をサクサク登り、標高920mの台地状へ。横断点から標高差240mを40分で登高、悪くないペース。素晴らしい青空の下、美しいブナ林が続き、癒される。3月の山はいい。

1518mピークへの登りは急なやせ尾根となり、斜面の藪が露出している部分もあった。



飯森沢のデブリを利用して左岸尾根へ



左岸尾根下部のブナ林

1518mピークから飯森山まではなだらかな尾根が続き、稜線散歩。出発から4時間弱で飯森山の頂に到着。順調なペースだ。天気予報通り雲が広がってきたが、それでも飯豊連峰は真っ白で美しい。北の栂峰をピストンすれば、南の鉢伏山と合わせて三山縦走になるが、時間的に厳しいのと栂峰の茫洋とした山

容がどうにもそそらず、計画通り南下して鉢伏山を目指す。飯森山直下には深く鋭いシュールントがあった。鉢伏山東側の緩斜面をトラバースして右岸尾根に入る。暗雲との競争で速足で下るが、もうすぐ14時46分、3.11東日本大震災の黙祷の時間だ。1020m付近でザックを下し、独り黙祷。下界の町内放送が聞えるかと思ったが、何も聞えず。黙祷後30分で駐車場に到着。ワカンはずっとザックに付けたまま、結局使用せず。雪の状態が良かったということか。



左岸尾根中間部の美しい雪尾根



左岸尾根下半部を振り返る

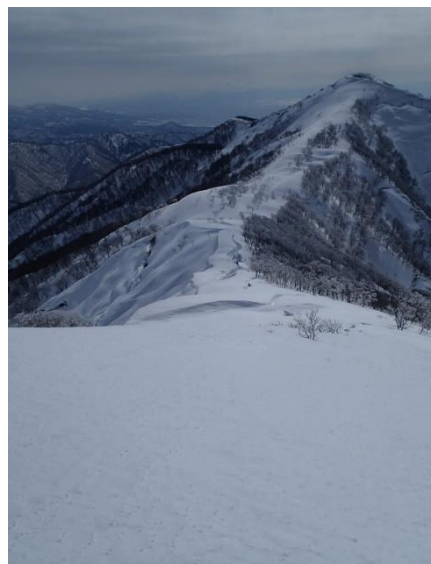


飯森山の頂にて

行動時間は約6時間、さしずめショートプログラムといったところか。痛めた右足は持ちこたえてくれた。次はいよいよフリースケーティング、いやいや障子ヶ岳東面だ。



飯森山へのなだらかな尾根



鉢伏山に続く稜線